

# CONTENTS COMBAT

2016.Mar  
No.480

# 3

Cover Design  
Favorite Graphics Inc.  
Cover Photo  
TOMO HASEGAWA  
©WORLD PHOTO PRESS 2016

※本文中の価格は消費税込みの  
総額表示です。



## 006 【第1特集／東京マルイ】 総力特集 トイガン界のイノベーター 東京マルイ

- 006 Airsoft Gun Gallery
- 018 東京マルイ社員インタビュー
- 026 何しろエアソフトガン好きなもので!
- 028 コンバットマガジンスタッフが選んだ「マイマスターピース」
- 048 History of TOKYO MARUI
- 052 東京マルイ エアソフトガン・カタログ

## 070 【第2特集／ミリタリー&ポリス】 LAPD K-9

●Report by Hiro Soga

## 090 NEW GENERATION STYLER

●fujiwara

## 100 The Equipments of the U.S. Force [現用米軍装備カタログ]

RRV特集

●解説:松原隆 ●撮影:山崎 学

## 117 Militaria Roundup!

ミリタリー・フライトジャケット Part.2

●解説:菊月俊之

## 148 自衛隊の力こぶ

西部方面隊実働演習「鎮西27」

●取材:菊池雅之

## 170 アホカリプスVNリユニオン

それは元祖ヴェトナム戦争リエナクト

●レポート:デューク廣井

●写真:デューク廣井/グエン少佐/タガメ中里

## 080 【第3特集／ガン】 WESTERN ARMS LB OPERATOR DOT SIGHT MODEL

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

## 085 WESTERN ARMS CUSTOM TLE/RLII(TFS) WEAPON LIGHT MODEL

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY



## 004 COMBAT FRONT LINE

## 110 トイガンニュース

- 110 東京マルイ M870ウッドストックタイプ
- 111 WA V10ウルトラコンパクト
- 112 WA ワイルド・ホーク《Ver.SARABA(さらば)》&エイカー・ホルスター
- 114 タナカ S&W M40センチニアル2インチ《1966アーリー・モデル》HW
- 115 タナカ コルトSAA .45 4 3/4インチ“2ndジェネレーション”HW

## 116 ミリいじ技研

## 128 PRESENT

## 146 Fighter's Choice

CRISPI SWAT HTGタクティカルブーツ

●Photo & Text Tomo Hasegawa

## 152 兵装嗜癖

●by Fujiwara

## 156 Goods & Accessory

## 160 PROJECT NINJA

●morizo(東京装備BAKA)

## 162 走って撃って楽しんで サバゲ放浪記 ゆい散歩 其の16 U.S.編

取材:上矢ゆい

## 164 サバゲ三等兵

●by 織本知之

## 216 中田商店グッズ

## 218 S&Grafグッズ

## 129 GAME OVER THE TOP

USシューティングライフ! ●鮫島宗貴

132 2015 ショットショー・ジャパン

134 第79回 ザ・ビクトリーショー

135 読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ

136 US GUNS TALK ●by Hiro Soga

138 トイガンズ・ジャンクション

140 装備エンズー道 ●福田真夫

188 新春ブラックホール'2106

189 バックナンバリスト

193 ミリタリー・コレクション

194 レア・ミリタリー・テクノロジー

188 A STITCH IN TIME

198 死ななきゃ食える! 救荒食指南

199 狩野健一郎のシネマ放浪記

200 狩野健一郎の新作DVD紹介

201 蛙のゆびさき(中山 蛙)

202 戦車兵通信 WORLD OF TANKS

204 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

206 読者プレゼント応募方法

207 編集後記



## 次世代電動ガン

金属パーツを多用したリアルな外観に、“シュート&リコイル”メカを搭載。金属感とリコイルショック(反動)が、手にした者の気分を高揚させる。フラッグシップシリーズとして、高性能と楽しさが際立つハイエンドシリーズだ。

## HK417 EARLY VARIANT

新開発のモーターにより、4.5kgのボディで強烈な反動が味わえる。極限まで高められた命中精度とリアルさが充実の1挺。



コストパフォーマンスに優れ、誰もが楽しめる。それが東京マルイのトイガンの数々だ。豊かかつ、それぞれに大きな特徴を備えたモデルは、造り手たちの「いいものを届けたい」という熱い思いと、努力の積み重ねによって生まれている。トイガン界の改革者。東京マルイの全貌が、今、ここに明らかになる。まずは、豊富なカテゴリー別に代表的な作品をギャラリー形式で紹介しよう。

**トイガン界のイノベーター**

T O K Y O M A R U I

# LAPD K-9

Los Angeles Police Department Metro Division K9



LAPD(ロサンゼルス・ポリスデパートメント)。

約1万人のポリスオフィサーを擁し、500平方マイル(約1300平方km)、

人口380万人のロサンゼルス市をカバーする、全米3番目の規模を誇るPDである。

仕事の特殊性ゆえ、メディアにはほとんど露出しないことでも有名だが、今回は、中でも際立ったエリート集団

「メトロポリタン・ディヴィジョン」に属する「LAPD K-9ユニット」取材することができた。

その最新鋭の装備と彼らのリアルな姿をご覧いただきたい。

Report by Hiro Soga

# LB OPERATOR DOT SIGHT MODEL



## LB オペレーター 《ドットサイト・モデル》

- 全長：約220mm
- 銃身長：約114mm
- 重量：1,050g
- 装弾数：21+1発
- 価格4万9,680円。
- 絶賛発売中!!

ハイグリップ・デザイン  
のメイン・フレームに、  
マガジン・リリースボタンの  
操作をアシストするレリーフ・  
カットを施したHW製  
インフル・グリップを  
装備するLBオペレーター。

## 光学系サイトを標準装備した アメリカン・ポリスの 最新型カスタム・ガバメント

ここ4年ほどの間に、小型ダットサイトを固定したハンドガンが、急速に普及した。レース・シューティングの世界では、1980年代に普及していた光学系サイトだが、それはレースという限定されたシチュエーションに対応するためのもので、コンバットシューティングへの応用は不可能と考えられてきた。不可能と判断された理由は、当時のダットサイトがどれも大型だった事、またサイズや丈夫さの点でフレに固定するしかなかった事などが挙げられる。リボルバーならまだしも、発射するごとに強烈な衝撃を受けるセミオート



で利用する場合、スライドに固定しても精度を保てるダットサイトは、当時ひとつも無かった。

1990年代には、セミオートのスライドに固定できるサイズと、強度のダットサイトに関するアイデアが生まれたが、十分な信頼性を備えた物はなかなか登場しなかった。同時に、

この頃からライフルやカービン用の、高精度光学系サイトが求められるようになり、開発メーカーの目はそちらに向いてしまった。その後登場した小型ダットサイトは、当初、倍率のあるダットサイトのサブとして利用されるようになり、そのデータを元に、精度や強度が改良されて、セ

# GROM SEALS

#15

知られざる超エリート集団  
ポーランド対テロ特殊部隊

JW2305

# GROM

NEW GENERATION STYLER

Photo & Text : fujiwara [Dazzled Eyes Designs.]

# The Equipments of the U.S. Force

[現用米軍装備カタログ] 第138回

## RRV (Rhodesian Recon Vest) 特集

●解説:松原隆 ●撮影:山崎 学 ●協カショップ:LAZY CAT (<http://lazycat.jp/>) / TRI'S (旧特小工房) (<http://tri-ss.com/>)  
/ Gamis (<http://www2.ocn.ne.jp/~gamis/>)

### EAGLE industries製RACK

RRVが登場するまではBAE製RACKが支給されていた。  
RRVがRACKを基本としている事がわかる。



### EAGLE industries製RRVとは

RRV (Rhodesian Recon Vest) はMLCS専用ポーチを装着可能としたMOLLE対応ベストのひとつである。ベストと言え基本はチェストリグがベースとなっており、それ単体で戦闘も可能だがオプションの防弾背面パネルを追加すると防弾プレートキャリアへと変身する。ちなみに2004年の本誌ネイテック研究所取材では初期モデルRRVをはじめとしたMLCS装備が紹介されている。当時、研究所ではイラク戦争にMLCS装備で参加した特殊部隊隊員たちのデータを元に細かな補正が製品に施されており、RRVを時代別・部隊別にピックアップしてみると微妙に違っているのが分かる。こうした現場の声を反映するメーカーだけに短期で終わったSPEARシリーズとは違うロングランな支給が続けられたのだろう。SEALSチーム6通称DEVGRUチームに限定供給された少数のDGLCS、SEALSや空軍等の幅広い特殊部隊に支給されたMLCS、

RANGERに支給されたRLCS (Rはレンジャーの意味)、海兵隊フォースリーコンに支給されたFSBE2、2006年からは特殊部隊全般を中心としたSFLCSとなり現在に至っている。迷彩色やファステックスの色変更や専用ポーチの追加など支給された年代や部隊で仕様が微妙に違っている。